

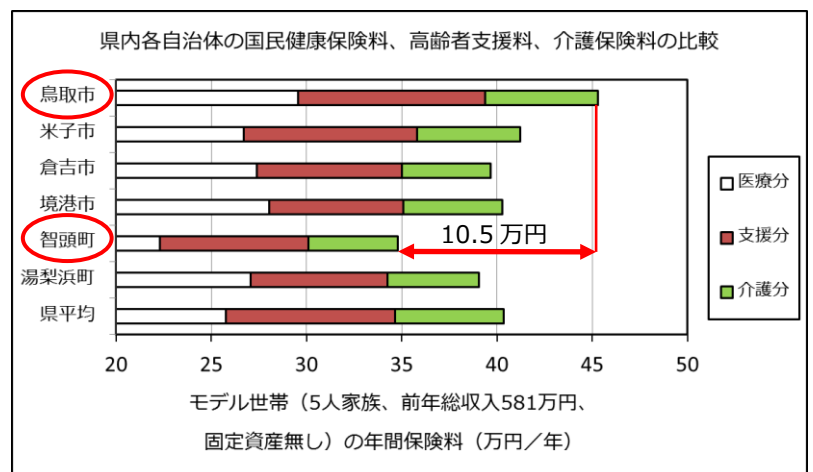
# 市庁舎新築移転問題以外にも、 こんなにある鳥取市の問題点！

## ① 飛びぬけて高い鳥取市の国民健康保険料・介護保険料！ モデル世帯で、智頭町よりも年間で約10万円も高額！！

鳥取市の国保料、介護保険料は県平均に比べて非常に高額です。右の図は、五人家族のモデル世帯について、各自治体の保険料率により年間保険料を試算し比較したものです。

鳥取市は若者の比率が県内でほぼ一番高いのに、高齢化が進む他自治体に比べて、年間で5万円から10万円も余計に負担しているのです。(詳しくは、「開かれた市政をつくる会」のホームページの記事をご覧ください。)

現在の市議会の与党議員は、この高額な保険料の問題を放置し続けて来ました。



## ② 鳥取市職員の中で、非正規労働者が急増中！

パート・臨職・派遣など非正規労働者の近年の急激な増加は、格差の拡大を招くとして社会問題化、若者がいつまでも結婚できないなど少子化の原因にもなっている。ところが、鳥取市職員の中でもこの非正規労働者の割合が急増している。9年前には全職員中の63%が正職員であったが、今年度は正職員の割合は52%に低下。この間に非常勤や臨職などの非正規労働者の数は約260名も増えた。

例えば、今年度の市職員採用試験案内によると、全体では正職員は約26人募集で、パート職員は97人募集。この中で保育士の募集だけに限定すると、正職員は1名で、パート職員は80名！！

パート保育士の募集条件は、週31時間勤務で税込月給13万円台、三年契約で原則昇給なし。こんな低待遇では欠員が埋まるはずもなく、ハローワークでは市の保育士の求人が、常時数人分は掲示され続けている。また、同じ保育園で同様の仕事をしているのに、正職員はパートの二倍から三倍の年収。このような超格差を放置したままの不満だらけの職場に大切な子どもたちをあずけて、本当に大丈夫でしょうか？

市は、「子育て支援や雇用の改善には最優先で取り組みます」と毎日宣伝しているが、自分たちが実際にやっていることは、言っていることとは正反対なのです。

## ③ 市の借金は2300億円もあるのに、止まらぬムダ使い！

市の借金は国民健康保険・介護保険などの特別会計も含めて約2300億円と言われているが、市は明確な数字の公表を拒否し続けている。さらに、市の土地開発公社が過去に開発した土地の多くが売れずに「塩漬け状態」にあり、その損失額は公表されていない。

この土地開発公社の損失の穴埋めを、市は隠れて行っており、その典型例が若葉台に平成24年に新設したガイナール練習場 (若葉台スポーツセンター、右の写真)。

この練習場の場所は、市の土地開発公社が住宅用に造成したが売れなかった土地。もっと安い土地は他にいくらで



もあったのに、15 億円も出してわざわざ住宅用地を買って、観客席の無い練習場に作り変えた。付属設備を含めた全体の費用は約 19 億円。そのほとんどは市の新たな借金(市債)。

一方、同じ時期に米子市にできたガイナーレの試合場であり約 7400 席の観客席を持つチュウブ YAJIN スタジアムの建設費用は、設計最適化もあり、たったの 3 億円。これは個人や企業の寄付を元にガイナーレの運営会社である SC 鳥取が実施した事業であり、米子市はほとんどおカネを出していない。

結局、鳥取市のやったことは、表向きはガイナーレの支援だが、その内容は市の新たな借金による土地開発公社の損失の穴埋めにほかならない。土地開発公社の投資失敗は隠ぺいされ、当事者の責任は問われないままに、大きな借金が私たち鳥取市民の肩に重荷として残ったのです。

◎ ほかにムダ使いの事業はたくさんあり、主なものだけでも下の表のようになります。

事業	駅前のバードハット	南吉方の三洋跡地	駅前の医療看護専門学校
費用	12 億円	岡山の製菓業者に県と合同で 10 億円で建物と設備を提供。	大阪の業者のために 5 億円以上使ってビルを建設。
内容と結果	意味不明の建築物。このせいで鳥取大丸は売上減少とか。	すぐに撤退されたら借金が残るだけ。リスクが非常に高い。	駅前一等地を 30 年間もタダで貸してしまった。

#### ④ そして、最大のムダ使い事業は、市庁舎の新築移転！

市立病院跡地の周辺整備費等を加えれば、新築移転に要する費用は 100 億円を軽く超えると想定されます。

10/6 の位置条例採決で、与党議員(新、公明党、清和会の大半、無所属の一部)はそろって新築移転に賛成したが、彼らは新築移転に要する費用が全体でいくらになるのか、市民の負担がどれだけ増えるのかについて、きちんと把握しないまま賛成票を投じました。事業費用も確認せずに賛成する議員！市民に対して本当に無責任です！！

#### ・ 11/16 市会議員選挙の立候補予定者に対するアンケート結果

「市民の会」アンケートの選択肢	立候補予定者
市庁舎新築移転を支持しない	伊藤幾子、上田孝春、太田縁、角谷敏男、橋尾泰博、棕田昇一、吉田博幸、朝野和隆、井上理、岩永安子、勝田鮮二、白井敬信、米村京子
どちらとも言えない	中村晴通
市庁舎新築移転を支持する	岡田信俊(*)、金谷洋治(*)、長坂則翁(*)、足立孝史、加藤茂樹、西村紳一郎、丸登美夫、横山明
無回答	石田憲太郎(*)、上杉栄一(*)、桑田達也(*)、下村佳弘(*)、砂田典男(*)、田村繁巳(*)、寺坂寛夫(*)、平野真理子(*)、房安光(*)、森本正行(*)、山田延幸(*)、秋山智弘、魚崎勇、竹内房雄、星見健蔵、八幡紀夫、雲坂衡、前田伸一、吉野恭介

注：(\*)印は、位置条例採決で新築移転に賛成した現職の与党議員。

### 11/16 の市議選では、決して、「誰が当選しても同じ」ではありません！

国保料に見るように、誰が当選するかによって、私たちの財布の中身は年間で何万円も違ってきます。

**この先、また 4 年間も我慢するの？ 4 年に一度のチャンスです！**

**棄権しないで投票に行って、市政の流れを変えましょう！！**

「開かれた市政をつくる会」 〒680-0035 鳥取市新町 201 tel:0857-25-4558 fax:0857-25-4559  
 会長：八村輝夫 URL: <http://sustainabletori.com/> (「鳥取市」+「つくる会」で検索。)